

# 各 教 員 あ て 通 知 内 容

「平成22年度後期授業アンケート」集計表

部 局 名 : 法学研究科・法学部

氏名: 吉田 広志

科目名: 演習3

授業の形態: 演習 科目区分: 専門科目

必修・選択: 選択 提出枚数: 29 登録学生数: 26~50人

設 問 内 容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	平均	全体平均	全学教育平均	専門教育平均	専門教育平均 (当該部局)	講義科目平均	演習科目平均	必修科目平均	選択科目平均
1. シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。	79.31	13.79	3.45	3.45	0.00	0.00	4.69	4.13	4.12	4.13	4.32	4.10	4.31	4.09	4.20
2. 授業はシラバスにそって行われていた。	82.76	10.34	6.90	0.00	0.00	0.00	4.76	4.15	4.14	4.15	4.34	4.12	4.33	4.12	4.20
3. 授業で要求される作業量(レポート、課題、予習・復習など)は適切であった。	72.41	17.24	10.34	0.00	0.00	0.00	4.62	4.03	4.05	4.01	4.16	4.01	4.20	3.98	4.11
4. 授業内容の難易度は適切であった。	3.45	27.59	65.52	3.45	0.00	0.00	4.24	3.77	3.78	3.76	3.93	3.76	3.81	3.71	3.88
5. 教員の説明はわかりやすかった。	75.86	17.24	6.90	0.00	0.00	0.00	4.69	3.97	3.99	3.97	4.34	3.94	4.23	3.93	4.06
6. 教員の熱意が伝わってきた。	82.76	6.90	6.90	3.45	0.00	0.00	4.69	4.11	4.12	4.10	4.36	4.09	4.30	4.06	4.20
7. 教員の話し方は聞き取りやすかった。	79.31	13.79	6.90	0.00	0.00	0.00	4.72	4.08	4.12	4.05	4.27	4.05	4.28	4.04	4.15
8. 教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業など)を促した。	82.76	10.34	3.45	0.00	3.45	0.00	4.69	3.79	3.80	3.78	3.77	3.73	4.28	3.77	3.82
9. 教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。	82.76	13.79	3.45	0.00	0.00	0.00	4.79	4.05	4.09	4.03	4.18	4.01	4.39	4.01	4.13
10. 黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。	79.31	10.34	6.90	3.45	0.00	0.00	4.66	3.96	4.00	3.94	4.01	3.94	4.13	3.92	4.04
14. 私はシラバスの到達目標を達成できた。	65.52	17.24	13.79	0.00	3.45	0.00	4.41	3.44	3.45	3.43	3.41	3.40	3.76	3.40	3.50
15. 授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	72.41	17.24	6.90	0.00	3.45	0.00	4.55	3.74	3.73	3.74	3.97	3.69	4.09	3.67	3.86
16. 授業は全体として満足できるものであった。	82.76	10.34	3.45	3.45	0.00	0.00	4.72	4.00	4.03	3.98	4.29	3.96	4.32	3.93	4.12
平 均 値	77.19	12.20	8.49	1.06	1.06	0.00	4.63	3.94	3.96	3.93	4.10	3.91	4.19	3.90	4.02

11. この授業の自分の出席率は( )%程度であった。	75.86	6.90	13.79	3.45	0.00	0.00	4.55	4.59	4.60	4.59	4.44	4.58	4.68	4.60	4.56
12. 質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	75.86	6.90	10.34	3.45	3.45	0.00	4.48	3.52	3.54	3.52	3.48	3.47	3.96	3.52	3.53
13. この授業1回(90分)のための予習・復習に費やした時間は平均( )であった。	58.62	6.90	13.79	3.45	17.24	0.00	3.86	2.17	2.09	2.21	2.25	2.14	2.44	2.24	2.03
平 均 値							4.30	3.43	3.41	3.44	3.39	3.40	3.70	3.46	3.37

※ 評点については次のとおりとする。

① 設問1~3、5~10、12、14~16

:「5・4・3・2・1」は、「強くそう思う・そう思う・どちらともいえない・そうは思わない・強くそう思わない」を意味する。

② 設問4

:「5・4・3・2・1」は、「A極めて難しい・B難しい・C適切・Dやさしい・E極めてやさしい」を意味する。

なお、各教員の設問1~15の平均値を算出するために「C→5・BD→3・AE→1」として計算した。

③ 設問11

:「5・4・3・2・1」は、ほぼ「100%・80%・60%・40%・20%」を意味する。

④ 設問13

:「5・4・3・2・1」は、「4時間以上・3時間・2時間・1時間・30分以下」を意味する。

## 追加設問

設 問 内 容	5 (%)	4 (%)	3 (%)	2 (%)	1 (%)	無回答 (%)	平均
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※設問及び回答の選択肢は教員各自が設定しているため空欄となっている。

## ○学生自由意見

### 【良かったと思う点】

- 0116-001 ・メンバーの参加意欲が高い。活動の遊びと勉強の両立ができています。・4年と3年の交流がある。
- 0116-002 ・知財の知識を得るだけでなく、ディベートを通じて様々な力を得られる点。
- 0116-003 ・学生の自主性。
- 0116-004 ・座学だけでなく、話すこと、チームワークなど学べたこと。横のつながりだけでなくタテのつながりもできたこと。よく学びよく遊べて有意義な最後の1年に、なりました。
- 0116-005 ・知財法についてディベートを通して考えぬける知的刺激にあふれたすばらしいゼミだと思う。
- 0116-007 ・ディベート形式である点。発言が促される。
- 0116-008 ・人前での発言がほぼ強制的になされる点。
- 0116-009 ・ディベート形式だったので、自主的に勉強できた。
- 0116-010 ・自分たちで参加できること。学祭参加イベントが多い。
- 0116-011 ・準備で仲間としっかり話し合うことで、知的好奇心をくすぐられ、また親密になれたのがよかったです。また、学生同士のディベートを学生が判定するゼミなので、自分の話が伝わるか等がはっきりわかる点良かった。勝利へのモチベーションがそのまま学習への意欲に直結する、というのが特に良かった。
- 0116-012 ・知的財産法の知識だけではなく、プレゼンテーション能力やディスカッション能力も伸ばすことができた点。ゼミ生全員で仲良くなれて、先輩や同期から良い刺激が得られる点。
- 0116-013 ・仲良くなれる!!! 結束力! ディベートのメンバーとは、本当に苦楽を共にするからとてもよかった。
- 0116-014 ・ゼミ生のコミュニケーションがよくとれて仲良くなった。
- 0116-015 ・ディベート形式で授業を進めることで生徒の学習意欲を促し、ゼミ生の仲もとてもよくなった点。
- 0116-016 ・ディベートを通じてプレゼン能力の向上が促された点。
- 0116-017 ・ディベートを行うことで、意見を発し、処理する能力が身につきました。友達がたくさんできました。
- 0116-018 ・ディベート形式なので、自主的に勉強できた点。・勝負が分かりやすい点。
- 0116-019 ・みんなが仲良くなれた。課外活動の多くていい。
- 0116-020 ・ディベート力だけでなく、プレゼン力も鍛えることが出来た。そして何よりも、ゼミメンバー同士のつながりが強い。そのおかげで、毎回充実した授業を受けられた。

### 【改善した方が良くと思う点】

- 0116-004 ・授業については特に。…あ、たまに事案がきついです。
- 0116-005 ・事案を抽選にもらえること…。
- 0116-016 ・事案選び…強いて言えば。笑
- 0116-017 ・すばらしい!!

### 【その他、気づいたこと】

- 0116-001 ・先生ありがとうございました!
- 0116-004 ・来年もあそびにきたいです! 2年間ありがとうございました。
- 0116-005 ・99%満足のゼミです。
- 0116-006 ・2年間とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。小松
- 0116-010 ・TAの存在により、よりのしくうけることができました。
- 0116-015 ・来年もぜひ履修したいと思いました。とてもいいゼミです。